

25 グループ

(グループホーム管理者 一般、472名
民生委員 かり2セリ2ケ)

講演をうけての感想	苫小牧市の現状はどうか	孤立を防ぐために現在実践していること	孤立を防ぐための課題は何か	課題を解決していくための方策	「やさしい街づくり」のため自分では何が出来るのか
<p>わかりやすく大変良い。 現実とつ居は多く。 現実的にみてもわかる。 弟は介了認知症なので対応しなけれは。 認知症で他人の役に立たなければ、その人の生きる事を考えてあげなければと思った。 自分も助けを求められる人柄にならなければと思った。 良く聞いて上げる。おしりではダメです。</p> <p>ラジオ体操等参加しているかも そのとき代行サービスの業者いない 申請主義とはわがなかつた。 車イスの人にもおしりも良いのわがな</p>	<p>民生委員さん1ヶ月を めぐる声かけ。 急がず車いすは本人は 毎月の子3人程度出す ようしている。 包括と連携して、 病院とのやりとりとか やりとりしている。 W1位みに行く。 ほっとけないから。 10年前引越して来たが あり情報はわがなない。 単の病院入院に かわりて市への手続き 包括支援センターでの 援助をうけてかんしゃ 子供はいくらも わがなしている。 ほっとかえ等 認知症サポーター よろせいこうさん ふかあい集々 配食の担当サービス 療育運動(ヤクルト) お電話相談</p> <p>認知症の症例ある。 孤立死もある 町内会の見回り</p>	<p>民生委員 歩いて3人の 孤立死 かたくなな考えをかたまる。 そろそろ。→認知症、痴呆 かかわりいけな。 包括と連絡とついている。 ありがた。 成年コウケンセーと 申し込み申請す子と、 国産からみ親と かかえる。 （よろか）顔出して 関係を改善。 町内会に行かれ ゴミ出しこいっほ している子。 娘さんとついで いほ。 地域の役取の方々が集り 話し合 システム・ネットワーク作り 認知症サポーターは増えているが サポーターが出来る事を考えて行く 出来る事役わりを考えたときと 生きている。</p> <p>成年コウケン制度等利用</p>	<p>孤立を防ぐための 課題かへ。 ①病気の場所を知る。 ②シロウしてそろろ！ ③声掛けしてくめる 人のせんせい。 ④横のつながり。 ⑤87才の女性もついでいほ。 近所の人とは、せき にんを言われるのか かわりすうい。 訪問医療、訪問看護 医師の高齢化も検討</p> <p>遠い親せきの肉親が出るか 理解していたとき</p>	<p>どこまではいり込むか 民生委員、せきんかた あとの人をいくせい。 となりさんいよ 奥にあるかみ手か 出せない。 知識はあ子かみ。 行動できない。 町内会に入らな いほ!!! 活動に参加しない。 町内会に参加してろう。</p> <p>今後の生活の援助を 整理支援して行く。 地域のネットワークをつなぐ</p>	<p>来自分も孤立な なよう考えて行く ネットワークを作る。 顔の見える関係。</p>